

日時：11月9日(月)

開場 12:30 開演 13:00

会場：コクヨホール2階 多目的ホール

定員：先着順 150名

参加無料 (定員になりしだい締め切ります)

ホームページで申込受付 <http://www.nipr.ac.jp/grene/>

主催 情報・システム研究機構国立極地研究所

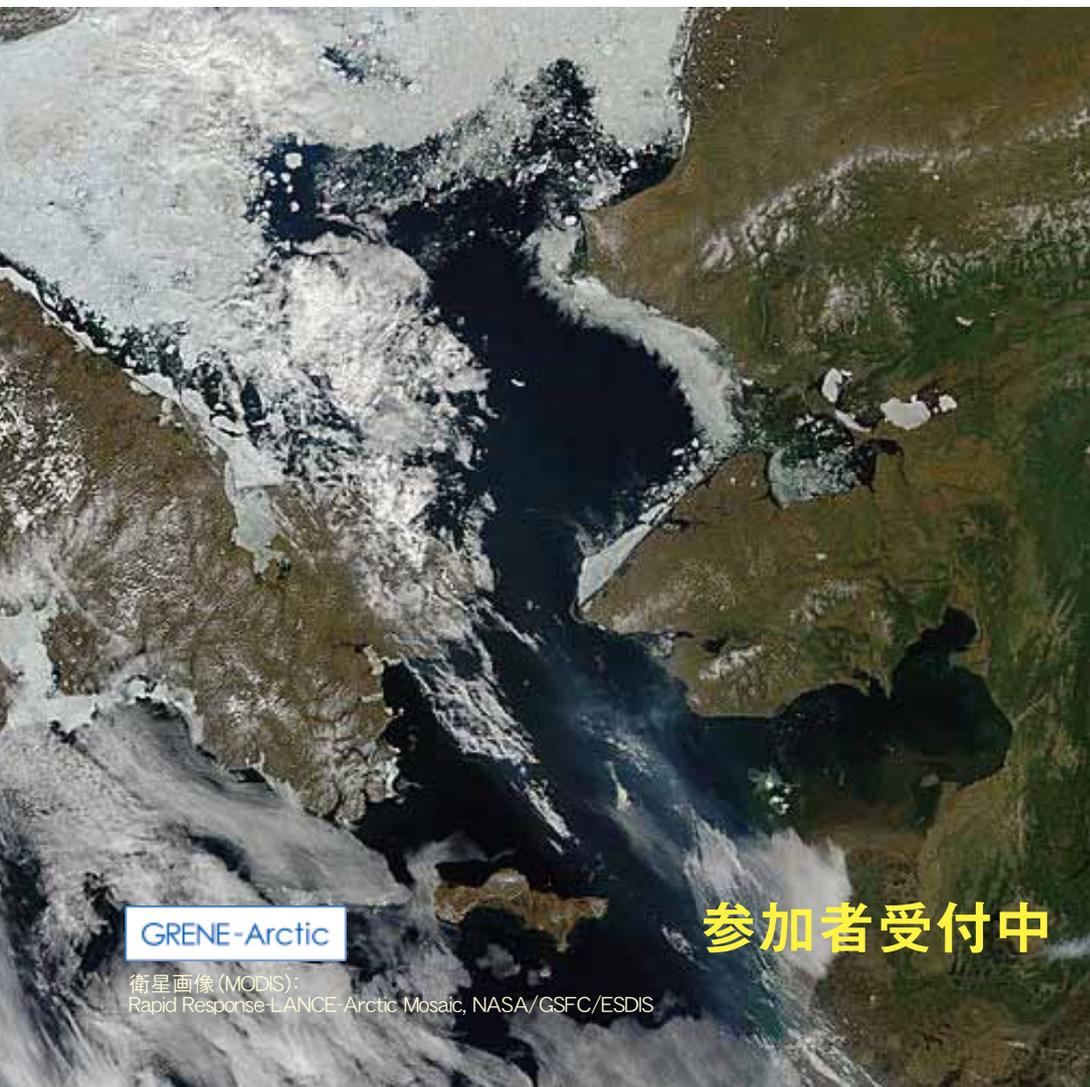
GRENE 北極気候変動研究事業
海洋生態系シンポジウム

ここまで分かった海洋生態系の変化 海氷が減ると、生態系は、水産資源は、どうなるの？



海氷減少により太平洋北部から北極海にかけての海の姿が
変わってきました。

環境変化が水産資源に与える影響は・・・



GRENE-Arctic

衛星画像 (MODIS):
Rapid Response-LANCE Arctic Mosaic, NASA/GSFC/ESDIS

参加者受付中

GRENE 北極気候変動研究事業で、北極海の海洋物理・化学・生物の学際的研究グループは、ベーリング海北部からチャクチ海・ポーフォート海にかけての太平洋側北極海域を中心に、海水減少が海洋の物理的・化学的環境をどのように変えて、それらがプランクトンから魚類、そしてこれらを捕食するクジラ、海鳥に至る生態系にどのように影響を及ぼすのかを調査してきました。調査により、この海域では世界に先駆けて海洋酸性化が進行していることや、代表的な水産資源であるシロザケの分布が将来的に北にシフトし得ることなどが分かってきました。

今回のシンポジウムでは、最新の研究成果のほか、環境の変化が水産資源へ与える影響といった、我々の生活にも関わる話題を提供します。また、パネルディスカッションでは会場からの質問を積極的に取り入れ、今後の北極海海洋生態系研究に求められているもの、そしてそれを行うための方策を広く探ります。

< プログラム >

開演、開会の挨拶 (池田 元美 / 北海道大学 名誉教授) 13:00

● 研究成果発表 I (座長：菊地 隆) 13:10 - 14:30

- ・ GRENE 北極・海洋生態系研究課題の概要 菊地 隆 / JAMSTEC 北極環境変動総合研究センター・センター長代理
- ・ 激変する北極海の海洋環境 西野 茂人 / JAMSTEC 北極環境変動総合研究センター・主任技術研究員
- ・ 温暖化だけじゃない！北極海における海洋酸性化問題の現状 川合美千代 / 東京海洋大学院海洋科学技術研究科・准教授
- ・ チャクチ海における海水変動と基礎生産の変化 平譚 享 / 北海道大学大学院水産科学研究院・准教授

休憩・ポスターセッション

● 研究成果発表 II (座長：平譚 享) 14:50 - 16:10

- ・ 動物プランクトンが海水衰退でどう変わるか ～太平洋から流されたプランクトンの運命～
松野 孝平 / 国立極地研究所 (北大院水産)・特任研究員
- ・ 20年間で底性生物の漁獲量は変化したか 佐々木 裕子 / 国立極地研究所 (北大院水産)・特任研究員
- ・ 海鳥やクジラから見る北極の海 三谷 曜子 / 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・准教授
- ・ 北極海生態系シミュレーション～藻類とサケの将来～ 渡邊 英嗣 / JAMSTEC 北極環境変動総合研究センター・研究員

休憩・ポスターセッション

● パネルディスカッション

(座長：和田 智明 / 神戸市立青少年科学館・館長) 16:30 - 17:15

今後の北極海海洋生態系研究の重要課題とその達成手段について

1. コメント

- ・ 海洋酸性化の影響評価に関して 原田 尚美 / JAMSTEC 地球環境観測研究開発センター・センター長代理
- ・ 社会科学的視点から 牧野 光琢 / 中央水産研究所 経営経済研究センター漁業管理グループ・グループ長
- ・ 北極海での観測手法について 菊地 隆

2. 会場からの質問・コメント

3. 議論：今後の北極海海洋生態系研究への展望

未解明な課題 期待される研究テーマ どのようすれば達成できるか

閉会の辞 (山内 恭 / GRENE 北極気候変動研究事業プロジェクトマネージャ)、終了 17:30

※プログラムは都合により変更する場合があります。

< コクヨホール > 東京都港区港南 1-8-35 品川駅港南口徒歩 5 分



< お問い合わせ先 > 国立極地研究所 国際北極環境研究センター / 企画チーム 電話：042-512-0922